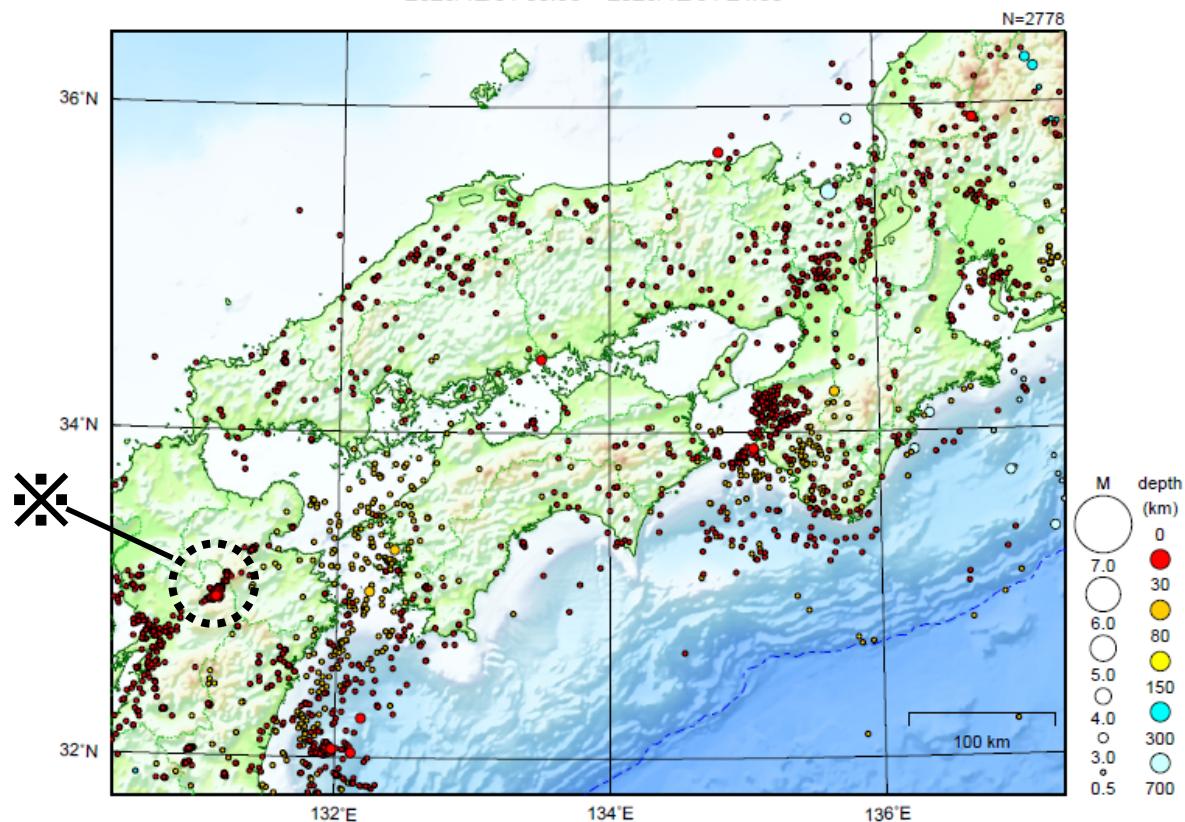


# 近畿・中国・四国地方

2025/12/01 00:00 ~ 2025/12/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

特に目立った地震活動はなかった。

※で示した地震については九州地方の資料を参照。

(上記期間外)

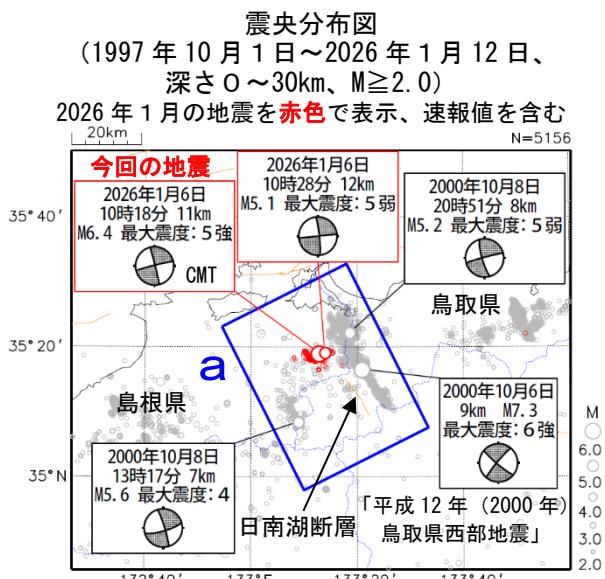
2026年1月6日10時18分に島根県東部でM6.4の地震（最大震度5強）が発生した。

2026年1月6日10時28分に島根県東部でM5.1の地震（最大震度5弱）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

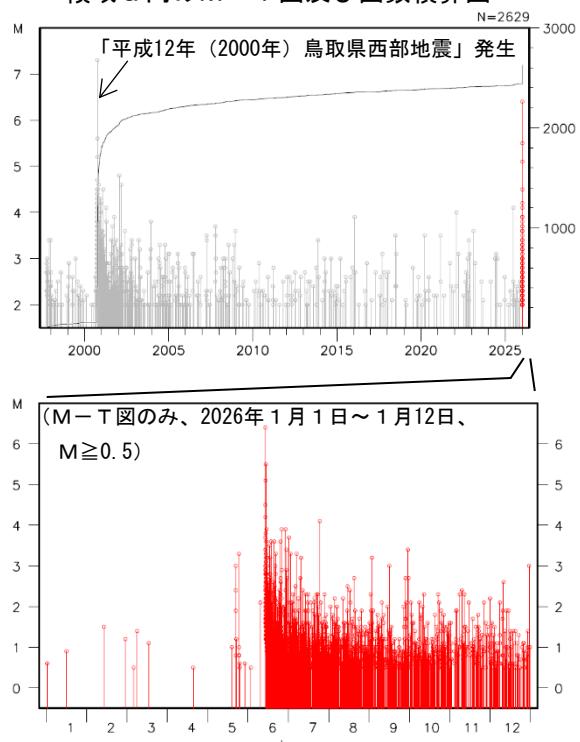
気象庁・文部科学省

# 1月6日 島根県東部の地震

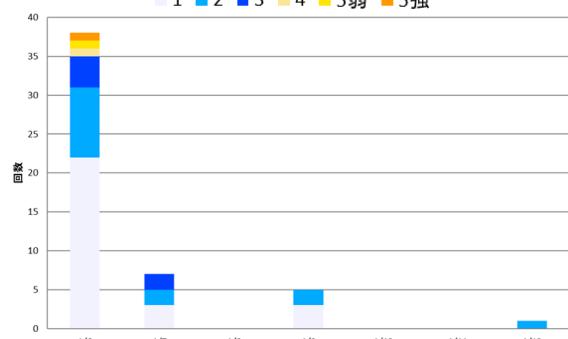


震央分布図中のオレンジ色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

## 領域a内のM-T図及び回数積算図



## 最大震度別地震回数<sup>(注1)</sup> (1月6日～12日、震度1以上)



(注1) 震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で  
変更する場合がある。

2026年1月6日10時18分に島根県東部の深さ11kmでM6.4の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西～東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、1月5日16時43分にM3.0の地震（最大震度1）および同日18時42分にM3.3の地震（最大震度2）が発生した。また、1月6日10時28分にM5.1の地震（最大震度5弱）が発生した。6日から12日までに震度1以上を観測した地震が51回（震度5強：1回、震度5弱：1回、震度4：1回、震度3：6回、震度2：14回、震度1：28回）<sup>(注1)</sup>発生した。この地震により、負傷者12人、住家一部破損62棟の被害が生じた（被害は2026年1月9日14時00分現在、総務省消防庁による）。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」が発生している。この地震により、負傷者182人、住家全壊435棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1943年9月10日に発生したM7.2の地震（鳥取地震、最大震度6）では、死者1,083人、住家全壊7,485棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

## 震央分布図 (1919年1月1日～2026年1月12日、 深さ0～30km、M≥5.0) 2026年1月の地震を赤色で表示、速報値を含む



## 領域b内のM-T図

